

(様式2)

令和5年度 鳥飼小学校地域学校協議会プラン

1 学校の課題

提言① 家庭学習習慣の定着・強化のために、自学自習の推進をしたり、家庭学習強化週間の設定をしたりする。
提言② 江南中校区プランにおける取組「週に一度はスローメディア、家族みんなで読書の日」「早寝・早起き・朝ご飯」を地域ぐるみで推進する。

2 提言の実働化に向けた具体的な取組(3者協働の場合)

具体的な取組			
	学 校	家 庭	地 域
提言①	○児童の学力の実態と課題を家庭や地域に説明する。 ○低・中・高をもとにした「家庭学習の手引き」を配布する。 ○自学自習取組の強化を図るために、取組の成果を校内掲示や全校朝会を利用しながら評価する。 ○家庭学習強化週間を年3回設定する。また、放課後学習会を週1回開催する。	○家庭で取り組むことができる自学の内容が書かれた手引きを参考にする。 ○家族タイム充実に向けたメディアの使用時間決めや早寝早起き朝ご飯摂取率向上のためのチェック表を活用する。 ○テレビを消して家庭で学習ができるような環境づくりの声かけと、課題をやり遂げた際の賞賛の声かけやコメントを行う。	○学力保障と向上についての課題解決の必要性を広報し、協力体制の強化を図る。 ○放課後学習会の啓発と学習ボランティアに協力・参加する。
提言②	○学校通信や校内放送、学校メールで発信する。 ○図書室利用の推進、読書・手伝い・会話等の家族タイム・家庭学習強化週間の取組を集約した結果を家庭・地域に発信する。	○朝食摂取を進めるための、早寝早起き朝ご飯チェック表を活用し声かけをする。 ○テレビやゲームの約束を子どもと一緒に決めるなど、メディアとの接し方を考え、目標を決め家庭で学習する環境を整え、励まし続ける。	/

※学校、家庭の2者協働の場合は、「地域」の欄に斜線を引く。

3 児童生徒の成長

〈年度初め〉	〈年度末〉
① 学年×10分の家庭学習を行う児童の割合: 70 % ② 家族タイムの取組、平日のメディア使用時間が2時間以下の割合が70%、早寝・早起き・朝ご飯摂取割合: 85%	① 学年×10分の家庭学習を行う児童の割合: 80% ② 家族タイムの取組、平日のメディア使用時間が2時間以下の割合が80%、早寝・早起き・朝ご飯摂取割合: 90%以上